

せきじゅうじて、
なんだろう？



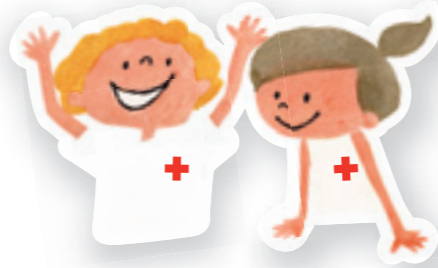
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



せきじゅうじ
赤十字のマーク



みんなのむねについているマークをしていますか？
これは、赤十字のマークです。



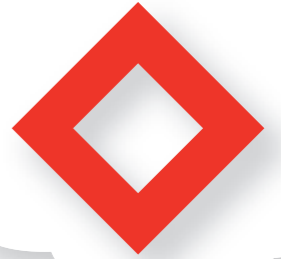
赤十字をつくったアンリー・デュナンが
うまれた「スイス」のこっきのいろを
はんたいにしてつくられました。



しかし、せかいには、いろいろなりゆうで、このマークを
つかえないにもあります。そこで「赤新月マーク」が
つくられ、「赤十字マーク」とおなじものとして
つかわれるようになりました。



さらに、2005年には「レッドクリスタルマーク」も
赤十字のマークにくわわりました。



赤十字のマークは、いのちをまもるための、大切なマークです。
せかいじゅうで、くるしんでいる人や、その人たちを
たすける人を、まもるためにつかわれています。
そのため、このマークがついているびょういんや人には、
せんそうちゅうでもぜったいにこうげきしては
いけないことになっています。
このことは、「ジュネーブじょうやく」という、
せかいのやくそくできめられています。



せきじゅうじ ちち 赤十字の父 アンリー・デュナン

いまから やく180年まえ スイスのジュネーブという町に、
デュナンという男の子が生まれました。

デュナンは とてもやさしい子でおさないときから
病気の人を元気づけたり ますしい人の
お手つだいをしたりしました。



大人になった デュナンが
しごとで イタリアのソルフェリーノ
という町を とおりかかったとき、
そこには せんそうで きずついた たくさんの けが人が
手あてもされずにくるしんで いました。

デュナンは かなしくて むねが はりさけそうになりました。
すぐに 町の人によびかけて 手あてを はじめました。

「きずついた人は てきもみかたも ありません。
人間は みんな きょうだいです。」

デュナンは そういって 手あてを しました。

ふるさとに かえった デュナンは なやみ ました。
デュナンの あたまから くるしみながら しんで いった、
たくさんの 人たちの すがたが はなれ なかった から です。



デュナンは「せんそうは してはいけない。もしそれが
できないのなら けがをした人は みんな たすけ しましょう。」
と、よび かけ ました。

デュナンの よび かけ に たくさん の ひと たちが
さんせい しました。そして 16 の くに の だいひょう の
人 たちが はなし あって 赤十字 を つくり ました。
デュナン は この かいぎ を しずか に
見まも っ て い ました が かいぎ が
おわ っ た とき デュナン の 目 に は
なみだ が あふ れ て い ました。



そのあとも デュナンは
赤十字のために いっしょうけんめい
はたらいて 79さいのときに
ノーベルへいわしょうを もら い ました。
デュナンは なくなるまで ひとびとの
しあわせを かんがえ
しずか に しょうがい を と じ ました。



にほんせきじゅうじしゃ

日本赤十字社のおこりとかつどう

アンリー・デュナンがつくった赤十字は、
げんざい186のくにぐにで
かつどうしています。

日本の赤十字は1877年に

佐野常民によってつくられました。

大きなたたかいが日本であったとき、



そのたたかいでけがをした人を、
てきでもみかたでもくべつなくたすけた人によって、
日本の赤十字は生まれたのです。



130年ちかくたったげんざいでも、日本赤十字社は
日本かくちでいのちをまもるかっどうをしています。

赤十字は

- せんそうや ふんそうで けがをした人を たすけます
- さいがいの ひがいにあった人を たすけます
- 病気でくるしんでいる人を たすけます
- お年よりや しょうがいの ある人を たすけます

これらのかつどうは、くにや せいべつ、
しゅうきょうなどによって さべつすることなく
おこなわれています。これらは ボランティアの協力で
おこなわれています。みなさんのような 青少年も、
赤十字の大切な なかまです。



みなさんが、いのちと けんこうをたいせつにし、
お友だちと なかよくするかっどうを、
「青少年赤十字」といいます。



せいしょうねん せきじゅうじ
青少年赤十字



○たんじょう

いまから90年くらい前にヨーロッパで
大きなせんそうがあり、
たくさんの子どもたちがいえやかぞくをうしなしました。

そんなとき、アメリカや
オーストラリアの子どもたちが
ヨーロッパの子どもたちをなぐさめ
はげまそうと、
学校の先生とそうだんして

さくぶん やくようひん かね
作文やえ、学用品や お金をあつめ、
せきじゅうじしゃ
赤十字社にもっていきました。

そしてそれらが赤十字社から
ヨーロッパの子どもたちにおくられました。
子どもたちは、とてもゆうきづけられました。

このことがきっかけとなり自分からすすんでお友だちや
そのほかの人のためによいおこないができるようにと、
せいしょうねん せきじゅうじ
青少年赤十字が生まれたのです。



○かつどう

だれもがもっているやさしいきもちをお友だちやほかの人たちに
あげることです。やさしいきもちをもっている、
それをだれかのためにつかわないとなんにもなりません。
自分で気がついたことやよいとおもったことはどんどん
してみましょう。先生やうちの人のいわれたから
するのではなく、自分でかんがえてするのが大切なことです。
たとえば、こんなこと

がっこう
学校で

- きづき 校庭にボールがおちている。
かんがえ どうしてつかいばなしにするんだろう。
ボールがかわいそうだな。
なくなってしまうかもしれない。
じっこう
実行する もとのところにもどしておく。



がっこう
学校のそとで

- きづき おうだんほどうをわたれないでこまっている
おじいちゃんがいました。
あっ、こまっている人がいる。
かんがえ どうしたらむこうがわに
わたれるかな。
じっこう
実行する ボタンをおしてあげる。
いっしょにわたってあげる。



○もくひょう

青少年赤十字のなかまは、わたしたちだけではなく、ほかの小学校や中学校、高校などにたくさんいます。わたしたちは、いつも元気で学校のお友だちとなかよくするだけでなく、せかい中のおともだちともなかよくし毎日、たのしい生活ができるようよいおこないをしていきましょう。

青少年赤十字では、わたしたちが赤十字のことをよくして、みじかなところからたすけあいやおもいやりのところをひろげ、人のためと自分のために努力できるようじっせん目標というものをきめています。

1 けんこう・あんぜん

自分やほかの人のいのちとけんこうを大切にしあんぜんな生活をこころがけます。学校では、しゅうだん登下校、手あらいやうがい・きゅうしょくのあとはみがきなどをすすめます。きゅうしょくやあさごはん・ゆうごはんをすききらいなくなんでもたべましょう。



2 ほうし

かていで、学校で、町の中でたすけあいをすすめます。募金、しょうずみ切手あつめ、しせつほうもんなどをおこないます。こまっている人を見たらいつでもしんせつにし、たすけてあげましょう。



3 こくさいりかい・しんぜん

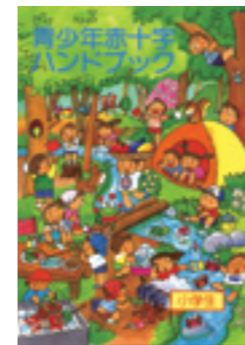
せかいのお友だちとなかよくします。こうりゅうしゅうかいへのさんか、しんぜんアルバムづくりなどをおこないます。このようなことに気をつけて毎日をおくっていくと、たくさん友だちができ、おうちや学校、町の中がとてもあかるくなり、自分だけでなくほかのお友だちもみんな毎日たのしくよい気もちですごすことができるようになります。

さあ、まず自分からやってみましょう。



もっとしりたいみなさんのために

赤十字や青少年赤十字について、もっとくわしくしりたいみなさんは、つぎのしりょうを先生といっしょによんでみましょう。



赤十字のマークについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：30ページ

ジュネーブじょうやくと赤十字のきまりについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：31～33ページ

アンリー・デュナンについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：24～29ページ
・赤十字の父 アンリー・デュナン

日本の赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：35～39ページ

せかいの赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：34ページ

青少年赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：2～9ページ、16～23ページ

ボランティアについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：10～15ページ

